

木田市長の

どんと コミュニケーション

〜真珠のように輝くまちづくりのために〜



桜 Vol.88

鳥羽市長選挙におきましては、3回目の当選をさせていただきました。市民の皆様にお礼を申し上げます。ありがとうございます。ございました。

ところで、今年は桜の花が例年のようには、きれいに咲きませんでした。伊勢の宮川堤は良かったわけですが、それより以南の伊勢・鳥羽・志摩で悪かったようです。全く不思議なことでしたが、その理由は何だったのでしょうか。

桜の花芽ができる6月頃に雨が少なかったとか、冬に寒くて強い風が吹いたとか、小鳥が花芽を全部食べてしまったとか言われています。私は小鳥説については、桜の花を全部食べてしまう程のたくさんの小鳥の群れなど見なかったもので、それは無

いと思っていました。しかし、伊勢市の横輪桜がウンという鳥に食べられて、追ひ払おうとしたができなかったという新聞記事が出ました。どうもうそではないようです。

何はともあれ、来年はあの見事な桜を見たいものだ。今から念願をしております。

さて、私が当選をさせていだいた翌日の8日、長野県飯島町の高坂町長と松下議長がお祝いにかけつけてくれました。そして本来であれば市長選挙の投票日であった4月14日に、飯島町で「いいじま桜まつり」があるのではありません。是非出席して、あいさつをお願いしたいという申し出がありました。

他の予定もなく、今年には桜の花を見逃したという思いもあり

ましたので、プライベートで出かけることにしました。

この時期の飯島町は、「花の里いいじま」と呼ばれるとおり状況でした。桜・こぶし・つつじなどの花が満開で、梨の花が咲き始めていて、これからリンドの花が咲くころかという、まさに花盛り状態でありました。加えて、中央アルプスと南アルプスの山々は、真白な雪がかぶっており、雪山と桜の花を同時に楽しめるというのは、鳥羽では経験できない風景だと感じました。

4月14日の朝は、うす氷が張る程の寒さではありましたが、風が近づくとつれ段々と人出も多くなり、会場の与田公園は桜と雪山の景色を楽しむ人々で賑わいました。

飯島町は風景も山里の食べ物も素晴らしい。しかし、それ以上にとっても人なつっこい、そしておもてなしの心にあふれた人々の存在があります。これから、観光交流や子どもたちの交流が出来たら良いなと思います。

すでに飯島町から、浦村ガキを食べるツアーで80名程の人達が来てくれましたし、鳥羽みなとまつりにも来てくれるという話を聞きました。



Vol.125

『いじめ』は犯罪です

子どもたちの『いじめ』、『自殺』のニュースが流れると、たまらなく心を痛めます。何故、もっと早く周りの大人たちが『いじめ』を察知し、状況把握と問題の解決に至らなかったのか、とても残念に思います。

子どもたちの深刻な問題行動として『いじめ』の問題が認識され始めたのは、昭和60年ごろからであり、質的にも大きく変化し、陰湿、執拗、集団化、長期化、時には不登校など、子どもたちの心身に深刻な傷を負わせる事件も発生してきました。

どこの国でも、大きな社会問題になるのが学校の中

での『いじめ』の問題です。ただ、昔から『いじめ』はありましたが、地域の中で遊び仲間の『いじめ』は、ガキ大将がある程度で制止し、エスカレートはしていかなかったと思います。

現代っ子たちは、兄弟姉妹も少なく、また地域の遊び仲間の中で『いじめ』に遭うという経験や、小学校入学後においても年齢にヨコの人間関係が少なく、クラスも固定した状況が続く傾向にあります。

改めて確認をしますが、学校の中での『いじめ』への対応は、まず現場の教師であり、教師が100%いじめられている側に立つことが大切です。そして、どのような意図があっても、『いじめ』はする側が良くないのであって、いじめられる方にも問題があるという考え方は間違いであり、何の解決にもならないことを子どもや大人も認識する必要があります。

『いじめ』は、他人の権利を脅かす重大な人権侵害であり、場合によっては犯罪行為であることを再認識する必要があります。